

メトアナ配合錠オンデマンドセミナー

ご自宅、病院、診療所などから、インターネットを通じてご視聴いただけます。

治療継続を見据えた2型糖尿病診療 — 患者負担軽減の側面から —

東京女子医科大学 内科学講座
糖尿病・代謝内科学分野 教授

中神 朋子先生

| 略歴 | 1987年 東京女子医科大学卒業
1991年 東京女子医科大学大学院医学研究科博士課程修了 医学博士
1991年 東京女子医科大学 糖尿病センター 助手
1998年 デンマーク・ステノ 糖尿病センター 留学
2006年 東京女子医科大学 糖尿病センター 講師
2016年 東京女子医科大学 糖尿病センター 准教授
2017年 米国ジョンスホプキンス大学公衆衛生学大学院修士課程修了 MPH
2018年 東京女子医科大学 糖尿病センター 教授

(現、内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野 教授)

現在に至る

オンデマンド配信

配信
期間

2023年4月13日(木) 12:00
～ 5月 7日(日) 23:59

配信
時間

30分(予定)

抄 録

糖尿病は治療の継続が重要です。治療を中断する、あるいは適切な治療強化の遅れが、糖尿病の合併症進行に悪影響を及ぼすことは複数¹⁾報告されています。治療継続ができない要因の調査²⁾では、糖尿病に関する知識不足に加えて、常に糖尿病に関わる医療費の患者負担が足枷になってきます。糖尿病患者の医療費の負担は、他の生活習慣病と比較しても大きく³⁾、適切な治療選択をした上で、患者の負担面からも寄り添った治療が継続および予後を考えて際に必要となります。

本講演では、2型糖尿病治療の質を落とすことなく、患者負担軽減を意識した薬剤選択について、配合剤の選択も視野に入れ論じたいと思います。

1) 奥平真紀他 糖尿病 (2003) 46: 781、田中麻里他 糖尿病 (2015) 58:100 2) 「糖尿病受診中断対策包括ガイド」作成ワーキンググループ: 糖尿病受診中断対策包括ガイド2014 3) 田中麻里他 糖尿病 (2018) 61: 382